

みくまの マンスリータイムズ

6月号 No.1



みくまのマンスリータイムズ6月号では、各学部で行われた行事について紹介します。これらの行事は、特別活動に位置づけられています。活動の目標は、「望ましい人間関係を形成し、集団への所属間や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」としています。では、各学部の活動の様子を紹介します。

中学部遠足

5月2日（木）に、さつき公園へ遠足に行きました。前日まで降り続いていた雨もやみ、芝生に多少の水たまりは残っていましたが、この日は天候に恵まれました。

公園に到着すると、車に積んでいた荷物の運搬やテント張りなどの準備を生徒達と一緒に行いました。準備が終わり、始まりの集い後にポッチャ対決を行いました。

ポッチャは事前に決めていた四つの縦割り班に分かれ、投げる順番を話し合いました。ゲームは、相手チームも含めてお互いに応援をし、新入生にも上級生にも良い交流の場になりました。

その後、みんなでお弁当やおやつを食べ、公園の遊具、持参したフリスビーやペットボトルロケットなどで楽しみました。

生徒達は準備や片付けも含めてすべての活動に積極的で、充実した一日となりました。



小学部5・6年生遠足

5月14日（火）に、太地町くじらの博物館へ遠足に行きました。出発前のはじまりの集いでは、一日のスケジュールと遠足での約束をしっかり聞くことができ、さすが高学年！と感じました。到着して、はじめに全員で写真を撮りました。その後は、くじらショーやマリナリウムの見学、栈橋でのくじらの見学などグループ別で行動しました。栈橋でのくじら見学やイルカのえさやりでは、普段見ることでできない生き物を間近で見たり、触ったりすることができ、子ども達にとって印象に残った体験になったと感じました。イルカショーでは、興奮した表情でイルカジャンプを見ている子ども達の姿を見ているとこちらもうれしい気持ちになりました。昼食は、友だちと一緒に色々な会話をしながら楽しそうに食べていました。

遠足を通して、高学年の友だち同士の仲を深めることができました。また、生き物を間近で見たり触ったりすることで新たな学びを得ることに繋がったと思います。

